

青島 広志(あおしま ひろし)

Hiroshi Aoshima

作曲家・ピアニスト・指揮者・台本家 ほか

東京芸術大学及び同大学院を首席で修了。手塚治虫原作「火の鳥」のほか7作のオペラや「マザー・グースの歌」などの合唱曲、「イソップ動物記」「モチモチの木」などの管弦楽曲に至るまで、広い範囲の作品を残している。その独特のキャラクターから、作曲家としてのみならず、ピアニスト・司会者・イラストレーター・少女漫画研究家など、マルチタレントとしても人気を博し、近年は日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に頻繁に出演し大きな話題となる。現在、東京芸術大学、都留文科大学講師。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。



●コンサート

- ◎青島広志&ブルー・アイランド楽団（お話・指揮・ピアノほか）
- ◎青島広志&ブルー・アイランド・カンパニー（台本・演出・ピアノ・演者）
- ◎ブルー・アイランド氏の音楽塾（お話・構成・ピアノ）
- ◎青島広志 どっておきの音楽会シリーズ（お話・構成・ピアノ）

●代表曲／作曲

- ◎ミュージカル「11匹のネコ」 詞：井上ひさし／1971年
- ◎オペラ「黄金の国」 原作：遠藤周作／1977-1981年
- ◎オペラ「黒蝶々」 原作：江戸川乱歩 台本：三島由紀夫／1984年
- ◎オペラ「火の鳥 やまと篇」 原作：手塚治虫 台本：加藤直／1985年
- ◎管弦楽曲「インップ動物誌」 1987年
- ◎管弦楽曲「その後のピーターと狼」 1997年
- ◎管弦楽曲「オーケストラの休日」 2010年
- ◎合唱曲「ゆかいな輪唱」 全129曲／1970-1992年
- ◎合唱曲「マザー・グースのうた」 調：谷川俊太郎／1977-1982年
- ◎器楽曲「ビートルズの主題によるソナチネ」 1987年

ほか多数

●テレビ・ラジオ

- ◎テレビ朝日「題名のない音楽会」（アドバイザー）
- ◎日本テレビ「世界一受けたい授業」
- ◎テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」
- ◎テレビ東京「ソロモン流」
- ◎TBSラジオ「子ども電話相談室」
- ◎NHKラジオ「みんなのコーラス」
- ◎NHKラジオ「高校音楽講座」 ほか

※ご注意ください！

近年、様々なテレビに出演させて頂く様になり、全国各地のイベント会社が青島広志の公演企画を紹介しておりますが、ブルー・アイランド楽団、その他のオリジナル企画については弊社でのみ制作が可能です。
弊社は、年間を通して青島広志の公演制作をしており、その公演数は他社に比べて圧倒的に多いため、信用度や実績も大きく異なります。また、映像・写真等のデジタルコンテンツや演奏会に必要な多くの編曲楽譜、企画資料について、その全てを保有しておりますので、安心してご依頼ください。

企画・お問い合わせ
株式会社サウンド・ベース



106-0032 東京都港区六本木3-1-27 Umebara Bldg 2F
TEL. 03-6759-2446 FAX. 03-6868-3924
e-mail: info@soundbase.co.jp

HP <http://www.soundbase.co.jp>

制作協力:株式会社クリエイティブ・ノア、明智音楽事務所

ブルー・アイランド氏こと 青島広志の音楽会



ここでしか出来ないオリジナル企画が満載。
いま、全国各地で話題です。

もし青島広志にご興味をお持ちでしたら、まずご相談ください。
また、お考えの企画内容が当てはまらない場合も、企画・予算の大小に関わらずお問い合わせください。
低予算の芸術鑑賞会や講座も頻繁に行っています。

全国各地で完売公演続出!わずか2度のツアーで2万人以上を動員した人気企画!!

オリジナル企画

青島広志&ブルー・アイランド楽団

●一行:20名(演奏者18名+スタッフ2名) ●公演時間:1部/約50分、2部/45分



青島広志&ブルー・アイランド楽団とは

ブルー・アイランド樂團の構想は、2008年に青島広志が音楽の都プラハより来日した有名樂團と共に演した際に、「この音楽会を、時期や場所にこだわらず、また質が落ちることなく、全て日本人メンバーでやりたい(わ)!」という一言から始まる。翌年冬、自身の呼びかけにより、在京オーケストラの主要メンバーや国内外のコンクールで入賞経験を持つ実力派の奏者が集められ、国内最高水準の室内オーケストラとして結成。「抱腹絶倒のトーク」と「珠玉の演奏」という正反対のコラボレーションは、想像以上の成果を上げ、09年、10年に行われたツアーでは、立ち上げ直後にも関わらず全国各地でチケットが完売。僅か2度のツアーで2万人以上を動員した。その後も公演を重ね、クラシック公演では異例の人気企画へと成長している。

青島広志&ブルー・アイランド樂団の魅力

まずは、言わずと知れた青島広志の楽しいお話。作曲家や作品の面白いエピソードや自身の経験談などを交えた内容で、終始お客様は笑いっぱなし。演奏会、そしてクラシック音楽のイメージまで一変します。続いて、樂團の演奏が一級であること。ブルー・アイランド樂團のメンバーは、これまでNHK交響樂團、読売日本交響樂團、東京都交響樂團、サイトウ・キネン・オーケストラ、シエナ・ウィンド・オーケストラなど、日本でも特に有名なオーケストラからメンバーを選抜してきました。時には、海外のオーケストラで活躍するメンバーが参加します。その豪華メンバーたちが、“より自由に”“より楽しく”をモットーに、素敵なお時間を贈ります。



編成:青島広志+ブルー・アイランド樂團(18名)

これぞ見て聴く音樂会!盛りだくさんのプログラム

L.モーツアルト作曲:おもちゃの交響曲

有名なモーツアルトのお父さんが作曲したと言われる作品。その名の通り、子供用のラッパやガラガラ、今や懐かしい鳥笛など、沢山のおもちゃが登場します。



ルロイ・アンダーソン・メドレー

ポップスとクラシックの融合でアメリカの国民的作曲家となったアンダーソン。一昔前まで使われていたタイプライターや、猛獣サーカスの稽古に使われたムチ、そして時計や紙やすりなど、オーケストラに交じって日常品が樂器として登場します。



J.ハイドン作曲:交響曲 第45番「告別」より“第4樂章”

実は、様々な作品に面白い要素を盛り込んだアイディア作曲家のハイドン。宫廷音楽家だったハイドンが、休みを与えてくれない領主に、音楽で訴えた作品。まだ曲中だというのも関わらず、演奏者が次々に退場!そして指揮者までもが…。そんな作品です。



その他、少女漫画研究家・イラストレーターとしても活躍する青島広志が、その場で描いて見せるユーモアあふれるイラストにも注目です!まさに、世界一わかりやすい音楽の授業が展開されます。



地元演奏団体とのコラボレーション

単純な鑑賞型事業に終わらせない為に、地元のソリストや合唱団とのコラボレーションを積極的に行っています。演奏のレベルや年齢に縛りを設げず、最善の形を模索して参ります。これまで、地元ゆかりのヴァイオリニストやオペラ歌手、合唱団、フラダンス団体などジャンルにとらわれず共演をしてきました。



ゲスト出演者を交えた企画

ブルー・アイランド氏の音楽会を開催したいけれど、もう一人有名なゲストが欲しい。そんな声にも柔軟にお応えします。これまで、有名なアーティストやタレントなど、多岐にわたって関わりを持ってきましたので、そういう特別企画を考えることができます。

写真/テノール:大西ライオン(吉本芸人)
※その他、松尾依里佳(ヴァイオリン)などとも共演実績あり



芸術鑑賞会/アウトリーチ活動

会場はホールでなくても開催することができます。体育館や特別教室、その他の施設など、ホール以外での演奏も可能です。演奏会のプログラムは、芸術鑑賞やアウトリーチなど、その対象によって特別な構成でお届けします。指揮者体験や、即席の共演、校歌のオーケストラ演奏など盛りだくさんです。



開催時期に合わせた多彩なネーミング

コンサートのタイトルは、集客を左右する大きなポイントです!当企画では、時期に合わせて意を凝らしたネーミングをご紹介しています。

- ◎青島広志のおしゃべりクリスマス with ブルー・アイランド樂團(12月)
- ◎青島広志のHAPPY NEW YEAR with ブルー・アイランド樂團(1月)
- ◎青島広志の世界わくわく音樂紀行 with ブルー・アイランド樂團(2月~11月)



プログラム例

見る・聴く・笑う。そんな今までにないコンサートの最後は、お客様と一緒に歌い、締めくくります。日本の唱歌、クリスマス・ソングなど、季節に合わせてご提案します。

レパートリーの一部

- 歌劇「フィガロの結婚」より“序曲”:W.A.モーツアルト
- キラキラ星変奏曲:W.A.モーツアルト
- ツイゴイネルワイゼン:サラサーテ
- おもちゃの交響曲:L.モーツアルト
- 交響曲第45番「告別」より 第4樂章:ハイドン
- 連作交響詩「我が祖国より」から“モルダウ”:スマーナ
- 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”:マスカーニ
- 喜歌劇「こうもり」より“序曲”:J.シュトラウス2世
- 美しく青きドナウ:J.シュトラウス2世
- 「ロメオとジュリエット」組曲第2番より
- “モンタギュー家とキャビレット家”:プロコフィエフ
- 歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”:ブッchner



オペラ!バレエ!! フィギュア スケート!!! 青島広志&シアター オーケストラ トーキョー

日本で最も有名なバレエ団である、熊川哲也率いるKバレエ・カンパニーのために設立されたオーケストラ、シアター オーケストラ トーキョーとの共同企画。フル・オーケストラの迫力サウンドで、十八番のバレエ音楽はもちろんのこと、オペラの名曲、そしてフィギュア・スケートの有名選手が試合で使った名曲の数々を演奏します。さらに、Kバレエ・カンパニーから選りすぐりのメンバーがステージに登場。タイトル通りの豪華版コンサートです。

●一行:60名(演奏者55名+スタッフ5名) ●公演時間:1部/約45分、2部/45分



浅田真央選手がオリンピックで演技した曲は、この青島広志&シアター オーケストラ トーキョーが浅田選手のために演奏・録音したものを使っています!まさに本家本元の企画です!!

オペラの名作が抱腹絶倒の舞台に!! 青島広志 とておきのオペラ劇場

監督:青島広志(ピアノ・企画・台本・演出・編曲)

演奏:ブルー・アイランド・カンパニー

青島広志がライフワークとしているのが、オペラを題材として新たに作り上げる舞台。元々の物語がヒントになっているもの…、配役のキャラクターや性別、時には物語の結末までもが変わってしまう、青島ワールド全開のコンサートです。台本はもちろんのこと、編曲や演出など、そのすべてが青島広志の手によるもの。コンサートも実施したいけど、ミュージカルの様な舞台も見てみたい。そんな時にオススメの公演です。また、どのタイトルも、子供たちとの共演も可能です。



『幸福の王子』 原作:オスカー・ワイルド(子供向け短編小説) 台本/構成:青島広志

30代でのNHK教育TVの構成や、40代での日生劇場「おんがく探検隊」の演出、50代になってからの渋谷CCレモンホールの企画と演出など、つねに舞台や物語と音楽を結び付ける仕事をしてまいりました。これからは、すでに80本を超えるこれまでの上演作品をお客さまの求めに応じてその度に変えて(地域・予算・お客様の年令など)提供しつづけること、また、まだまだ頭の中にある新しい物語を実現させたいことが、当面の予定です。

〈ストーリー〉

イギリスの有名な作家オスカー・ワイルドが子どものために書いた「幸福な王子」は、小さい人だけでなく、大人が読んでも本当に感動するお話です。王子様の銅像が、貧しい人や困っている人たちを救うために、つばめの力をかりて、自分の王冠や服についている宝石を、惜しげもなくほどこしてしまい、王子の魂とつばめは、天国に召されていく、とても純粹で悲しい物語です。当作は、悲しいだけでなく、楽しく、みんなで歌ったり踊ったり、また原作にはなかった登場人物も加えて、小さなお子様たちにも楽しめるように作りあげました。もちろん、お家のかたにも充分にお楽しみいただけるように、工夫をこらしています。(文:青島広志)

●曲目

手のひらを太陽に/いざみたく
歌劇「妃ガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」/W.A.モーツァルト
歌劇「セヴィリアの理髪師」より「今のが声は」/G.ロッシーニ
春の声/J.シュトラウス2世
歌劇「魔笛」より バ・バ・バの二重唱/W.A.モーツァルト
ほか多数

●出演者(ブルー・アイランド・カンパニー)

ブルー・アイランド氏(青島広志)
歌手3名/ソプラノ、テノール、バリトン
弦楽五重奏/ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

●一行

10名(演奏者9名+スタッフ1名) ※弦楽五重奏を入れない場合は5名
ほか多数

●公演時間
1部/約40分、2部/45分



『青い鳥』 原作:モーリス・メーテルリンク(童話劇) 台本/構成:青島広志

オペラやミュージカルのように、大もとが決まっている場合は、あまり激しい変化は加えられません。その点、この「青い鳥」は、世界中に広まっている音楽がないので、私の個性をちらばめることができました。ただ、似た主人公が出てくる「ヘンゼルとグレーテル」は、ファンデーディング作曲のオペラがあり、日本でもクリスマスの時期には良く上演されていますから、その音楽を中心に他の曲を選んでいったことだけはお知らせしておきましょう。最高の出演者(キャスト)と協力者(スタッフ)のおかげで、舞台作品としては素晴らしい作品が出来上がったと自負しています。

〈ストーリー〉

チルチル・ミチルの兄妹が、いなくなってしまった幸福の青い鳥を探して、夜の国、お菓子の国、未来の国などを旅します。おともには鳥の狩人パパゲーノも一緒です。でも、青い鳥はなかなかつかまりません。幸福は、本当は家にあったのだというお話ですが、この物語は、さらに驚きの結末が用意されています。さあ、あなたも幸福の青い鳥をよんぐください!(文:青島広志)

●曲目

憧れのハイウェイ/江口夜詩
ブルー・アイランド氏(青島広志)
鉄腕アトム/高井達雄
シューベルトの子守歌/F.シューベルト
モーツアルトの子守歌/B.フリース
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」より「踊りましょうよ」/E.ファンデーディング
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」より「魔女のアリア」/E.ファンデーディング
ほか多数

●出演者(ブルー・アイランド・カンパニー)

ブルー・アイランド氏(青島広志)
歌手3名/ソプラノ2名、テノール
弦楽五重奏/ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

●一行

10名(演奏者9名+スタッフ1名) ※弦楽五重奏を入れない場合は5名
ほか多数

●公演時間
1部/約40分、2部/45分



『蝶々夫人』 原作:ジャコモ・プッチーニ(オペラ) 台本/構成:青島広志

オペラの作り方に、パステイッヂョということがあります。ごった煮、つなぎ合せ、というような意味で、すでにある曲や、何人かの作曲家が共作して一つの物語を作り上げることです。古くはヘンデルやモーツアルトにも、こうした作品があります。また、中世のころから、たとえば教会で歌われる曲のどこかに、有名な曲の旋律をとり込んで作曲するクオド・リベドという方法もあり、これによって書かれたミサ曲や、舞曲も沢山あります。

〈ストーリー〉

日本人の女の子・蝶々さんは、大好きなピンカートンの後を追ってアメリカへ旅をしますが、その途中で乗っていた空飛ぶじゅうたんから落ちて、ロシアやフランスに不時着します。そこで、人間の本当の心の中を知り、だんだん賢くなつて、ピンカートンと別れることを決心します。この「蝶々さん 海をわたる」は、有名な蝶々夫人の物語をもとに、ブルー・アイランド氏が新しく書き直したもので、世界中の有名な曲がこれでもか!というほど入っています。居ながらにして、音楽の世界旅行が楽しめるというわけです。プッチーニ作曲のオペラとは違い、女のは男の人の言うなりにはならないのです!(文:青島広志)

●曲目

ボギー大佐/ケネス・アルフォード
高麗列車は行け/古閑裕而
春の小川/岡野貞一
結婚行進曲/F.メンデルスゾーン
歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」/G.プッチーニ
歌劇「セヴィリアの理髪師」より「私は町の何でも屋」/G.プッチーニ
ほか多数

●出演者(ブルー・アイランド・カンパニー)

ブルー・アイランド氏(青島広志)
歌手4名/ソプラノ2名、テノール、バリトン
弦楽五重奏/ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

●一行

11名(演奏者10名+スタッフ1名) ※弦楽五重奏を入れない場合は6名
●公演時間
1部/約40分、2部/50分



『ペール・ギュントの大冒陥』 原作:ヘンリック・イブセン(戯曲)、エドヴァルド・グリーグ(音楽) 台本/構成:青島広志

ノルウェーの大文豪イブセンの著した戯曲(詩のようなセリフを持つ劇の台本=戯曲)「ペール・ギュント」は、やはり同じ国の近代音楽の父と呼ばれるグリーグによって音楽が加えられ、日本では、学校の音楽の時間に必ず聞くことになっているほど、よく知られています。ところが、題名は知られていても、その物語は大人向きで、ほとんど知られていません。

〈ストーリー〉

主人公のペールは、美しい女の人に見ると放つおけない性格の青年ですが、すぐに相手に飽きて捨ててしまうのです。みなさんはこんなことをしてはいけませんよ。一番ひどいのは、好きだったイングリッドが結婚すると聞いて、彼女をさらってしまうことです。また、自分のことを心から愛してくれている少女ソルヴェーグを置いて、故郷のノルウェーから何十年間もの旅に出してしまうこともそうです。夢見る少年ペールが、美しいものを求めて世界旅行にでかけ、大冒険のすえ、疲れはてて故郷に帰ってくると、そこにはペールを本当に愛するソルヴェーグが待っていたのです。ノルウェーの大文豪イブセンの戯曲にグリーグが作曲した劇音楽を中心、世界中の音楽をふんだんに使って構成しました。その後各地で50回以上も上演されています。(文:青島広志)

●曲目

「となりのトロ」より「さんぽ」/久石譲
歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」/G.ヴェルディ
オブライディ・オブライダによるコンサートロンド/青島広志
歌劇「カルメン」より「ジプシーの歌」/G.ビゼー
劇音楽「ペール・ギュント」より「ソルヴェーグの歌」/E.グリーグ
劇音楽「ペール・ギュント」より「山の魔王の宮殿にて」/E.グリーグ
おおスザンナ/S.フォスター
ほか多数

●出演者(ブルー・アイランド・カンパニー)

ブルー・アイランド氏(青島広志)
歌手4名/ソプラノ2名、テノール、バス(舞台監督兼務)
弦楽五重奏/ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

●一行

11名(演奏者10名+スタッフ1名) ※弦楽五重奏を入れない場合は6名
●公演時間
1部/約40分、2部/50分



『カルメン』 原作:プロスペル・メリメ(小説)、ジョルジュ・ビゼー(音楽) 台本/構成:青島広志

グランド・オペラの最高峰と呼ばれ、この何十年もの間は、最も人気のあるオペラとして知られています。妖艶で自由奔放な女性と、そんな彼女に惹かれるまじめな青年、そしてスターとして誰もが知る闘牛士。分かりやすい配役と、誰もが一度は聴いたことのある旋律の数々。世界中で愛される理由は数えきれません。

〈ストーリー〉

原作では、タバコ工場で働く女工カルメンとその衛兵ホセ、そして闘牛士エスカミーヨが繰り広げる泥沼の恋愛劇を描いています。今回は、誰でも物語の世界に入って頂けるように、人物の設定を変えました。女子高生のカルメンと、その学校に来た教育実習生のホセ、そして大人の魅力あふれる高校教師の3人が、純愛を演じます。原作では、カルメンが最後に殺されてしまいますが、この物語では最後に第3者を見つけて駆け落ちてしましますので、そんなこともあります。そして、残された男性2人は…。それは本編のお楽しみです♡

●曲目

グラナダ/ラーラ
愛の賛歌/モニー
歌劇「魔笛」より「何と美しい絵姿」/W.A.モーツァルト
「冬の旅」より「菩提樹」/シーエベルト
歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」/プッチーニ
歌劇「カルメン」より「ハバネラ」/ビゼー
歌劇「カルメン」より「ジプシーの唄」/ビゼー
歌劇「カルメン」より「闘牛士の歌」/ビゼー
ほか多数

●出演者(ブルー・アイランド・カンパニー)

ブルー・アイランド氏(青島広志)
歌手3名/ソプラノ2名、テノール、バリトン
弦楽五重奏/ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

●一行

10名(演奏者9名+スタッフ1名) ※弦楽五重奏を入れない場合は5名
●公演時間
1部/約45分、2部/50分



2時間でわかる音楽のイロハ 青島広志の音楽塾



ブルー・アイランド氏がお贈りするオペラ史の413年!? ～あなたも今日からオペラ通～

ギリシャ神話から現代のミュージカルに至るまでのオペラの歴史を、有名なオペラ・アリアを取り上げながら、面白く解説します。この企画は、演奏会としてだけではなく、イベントスペースや会議室などでの講座としても可能です。ブルー・アイランド氏企画の中で、最も小規模にできる公演です。

- 曲目
歌劇「フィガロの結婚」より“序曲”/W.A.モーツアルト
歌劇「セルセ」より“オンブラ・マイ・フ”/ヘンデル
歌劇「魔笛」より“復讐の炎は地獄のように我が心に燃え”/W.A.モーツアルト
歌劇「連隊の娘」より“友よ、何と楽しい日”/ドニゼッティ
歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”/マスカーニ
歌劇「ボエーム」より“冷たい手を”/ブッチーニ ほか

ブルー・アイランド氏がお贈りする作曲家の生涯 ～波乱万丈ショパンの生涯～

既にショパンが生まれてから200年以上になりますが、その人気は絶えることがありません。当企画は2010年に生誕200年を記念して特別企画として制作された、ショパンの生涯とジョルジュ・サンドとの想い出、そして彼の音楽を余すところなく紹介するコンサートです。内容はピアノの独奏曲だけでなく、名作として名高いチェロ・ソナタや、歌曲、ピアノ協奏曲まで。共演は、2005年愛知万博のポーランド館で、国の代表として何度も公演を行ったピアニストが登場！知られざるショパンの世界をどうぞお楽しみに!!

- | | |
|---|------------------|
| ●曲目 | ●一行 |
| ピアノ・ソロ作品より | 9名(演奏者8名+スタッフ1名) |
| 別れの曲、子犬のワルツ、英雄ポロネーズ、 | ●公演時間 |
| バラード、スケルツォなど多数 | 1部/約50分、2部/60分 |
| ピアノ協奏曲作品より | |
| ピアノ協奏曲 第1番(抜粹) | |
| アンダンテスピアナートと華麗なる大ポロネーズ | |
| 室内楽作品より | |
| チエロ・ソナタ(抜粹) | |
| 歌曲集より ほか | |
| ●出演者 | |
| 青島 広志(ピアノ・お話/構成) ※公演中、お話の他に数曲ピアノの演奏もします | |
| ミハウ・ソブコヴィアク(ピアノ/ショパン役) | |
| ソプラノ歌手 1名(ジョルジュ・サンド役) | |
| 弦楽五重奏(ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チエロ、コントラバス) | |
| ※在京オーケストラのメンバーを予定。 | |



ブルー・アイランド氏がお贈りする作曲家の生涯 ～こんにちはモーツアルトさん～

クラシックと言えばなんと言ってもモーツアルト！そんな方々にオススメの公演です。モーツアルトの初めての作品から、最後のオペラ「魔笛」まで、ピアノ曲や、歌曲、そしてオーケストラ曲に関わらず演奏します。また、マリア・テレジア、ハイドン、ベートーヴェン、サリエリとの関わりにも注目です。

- | | | |
|---|--|--|
| ●曲目 | ●出演者(ブルー・アイランド・カンパニー) | ●一行 |
| アイネ・クライネ・ナハトムジークより
おかげさん、きいてちょうだい(キラキラ星変奏曲)
トルコ行進曲
歌曲「すみれ」
歌劇「魔笛」より“パ・パ・パ” ほか | ブルー・アイランド氏(青島広志)
歌手3名/ソプラノ2名、テノール
弦楽五重奏/ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス | 10名(演奏者9名+スタッフ1名)
※弦楽五重奏を入れない場合は5名
●公演時間
1部/約45分、2部/50分 |

青島広志と大西ライオンのなんちゃってミュージカル♪

(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシーとの共同企画。お笑い芸人歌がうまい王座決定戦で圧倒的な歌唱力を見せた大西ライオンが、得意なミュージカル、オペラの名曲を披露する特別企画。青島広志による、ミュージカルの歴史や、特性、そしてミュージカルの作り方の解説にも大注目。緊張するのでたぶんネタはしません。

- 曲目
歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”
池の雨(ヤマハ音楽教室CMの歌)
ミュージカル「ライオンキング」から
ミュージカル「ウェスト・サイド・ストーリー」から
ミュージカル「オペラ座の怪人」からほか
 - 出演者
青島広志、大西ライオン、その他歌手2名
 - 一行
6名(演奏者4名+スタッフ2名)
 - 公演時間
1部/約40分、2部/40分



ひろし 広志の部屋

毎回多彩なゲストをお迎えして開催する特別企画。演奏者はもちろんのこと、実は楽器演奏が趣味!という有名人が登場します。お話はもちろんのこと、思い出の曲の演奏も予定しています。ゲストの選出は企画する皆様にお任せ!一度きりの特別公演を作り上げましょう!

ブルー・アイランド・カンパニーのご紹介

～青島企画を盛り上げる芸達者なメンバー～

- 横山 美奈（ソプラノ）**
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。文化庁オペラ研修所第8期修了後、文化庁芸術家在外派遣研修員としてイタリア・ミラノに留学。日本音楽コンクール声楽部門第3位入賞。「ホフマン物語」オランピアでデビュー後、二期会「フィガロの結婚」をはじめ、数多くのオペラに主要な役で出演。二期会会員。日本声楽家協会アカデミー会員。

赤星 啓子（ソプラノ）
武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。在学中、福井真次奨学生を受ける。第2回日本声楽コンクール入選。これまで様々なオペラ作品に出演。日露国際共同制作ロシア公演、三木稔作曲「羽衣」天女役は、ロシアの劇団に唯一の日本人キャストとして参加し、ロシアの新聞各紙で絶賛された。近年は、コンサートの他にもテレビ出演など、多方面で活躍。昭和音楽大学講師。二期会会員。東京室内歌劇場会員。

江口 二美（ソプラノ）
愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。中村桃子賞受賞。95年渡伊、ミラノにて研鑽を積む。第10回日本声楽コンクール入選、第10回宝塚ベガ音楽コンクール入選。ルーマニア国際声楽コンクール声楽部門第3位。これまでに、東京オペラプロデュース公演、名古屋二期会公演、仙台フィル定期（オペラ公演）、その他オペラ団体で数多くの公演に主演している。二期会会員。東京オペラプロデュースメンバー。

杉野 麻美（メゾ・ソプラノ）
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。文化庁芸術家在外派遣研修員としてイタリア・ミラノに留学。第37回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位。第1回ガリカルチ記念バルレッタ音楽コンクール第1位。第9回グローバル東教賞受賞。初の日韓交流オペラ「リゴレット」のマッダレーナ役で二期会オペラにデビュー。二期会会員。NHK文化センター講師。

小野 勉（テノール）
平松剛一氏のもと研鑽を積み、現在平松謳声合唱團に所属し團長を務める。その傍ら「黄金の国」「天国と地獄」「浅茅ケ宿」「駆死を越えて」など、東京室内歌劇場、東京オペラプロデュースの公演にソリストとして参加。また、ソリストとして読売日本交響樂團、群馬交響樂團、神奈川フィルハーモニー管弦樂團、名古屋フィルハーモニー交響樂團、大阪シンフォニカ等と共に演。

水野 賢司（バリトン）
東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学中、安宅賞受賞。毎日コンクール第2位、日伊コンカルソ第2位入賞。皇居にて御前演奏を行う。オペラ出演の他、オーケストラのソリスト、リートのリサイタルなど多方面で活躍。また、多くの曲の初演を手がける。日本の若手作曲家に新作を委嘱して、「THE WORLD OF KENJI」のタイトルでユニークなりサインルを主催している。東京音楽大学教授。